

通告時間 45分

問 今後、地震に向けて教訓とすべきことはあったか

答 地域と行政が一体となって防災活動を進めたい

災害弱者への対応は

問 災害対策本部の東日本大震災発生時の設置状況、また廃止の時期はいつであったのか。

町長 災害対策本部については多古町地域防災計画により、震度5以上の地震が発生した場合自動配備となっております。発生直後に設置され非常電源確保、町内の被害状況調査、断水世帯への給水等を実施しました。廃止については余震の減少等、被害発生見込みが無くなったことや災害関連の補正予算編成に一定の目途がついたことにより、5月11日午後5時15分をもって廃止しました。

問 防災活動拠点施設の整備について、建物は耐震補強工事が進んでいるが、発電施設の整備はどうなっていますか。非常用電源に不安を感じましたが。

町長 役場庁舎は21年度に耐震補強工事を実施しました。

町長 本町では271人の方が要援護者台帳に記載されています。発生直後、施設入所者を除く206人の安否確認を保健福祉課中心に民生委員・施設ケアマネージャーの協力を得ながら訪問や電話等で実施し、全員の無事を確認しました。今後も民生委員や関係機関と連携を図り、早期の安全確保に努めるとともに地域コミュニティの構築を目指したいと考えます。

問 今後東海沖地震が想定されていますが、今回教訓と思わ

町長 本町では271人の方が要援護者台帳に記載されています。発生直後、施設入所者を除く206人の安否確認を保健福祉課中心に民生委員・施設ケアマネージャーの協力を得ながら訪問や電話等で実施し、全員の無事を確認しました。今後も民生委員や関係機関と連携を図り、早期の安全確保に努めるとともに地域コミュニティの構築を目指したいと考えます。

問 災害弱者の安全確保対策は震災が現実になった日、実際はどうでしたか。情報の伝達に一番不安を募らせたように思われますが。

町長 本町では避難所への避難者が多くありませんでしたが、他の被災地の状況を見ますと避難所の設置及び運営は日常の想定訓練がより重要であると痛感しました。様々な被害を想定した防災訓練を実施し、災害に対し迅速かつ適切な対応が図れるよう職員の能力向上と防災意識の高揚に努めていきます。各地区においては、区役員や消防団を中心とする自主防災組織に活躍いただきましたので、今後も地域コミュニティを生かし、行政と地域が一体となった活動を推進していきたいと考えます。

町長 本町では避難所への避難者が多くありませんでしたが、他の被災地の状況を見ますと避難所の設置及び運営は日常の想定訓練がより重要であると痛感しました。様々な被害を想定した防災訓練を実施し、災害に対し迅速かつ適切な対応が図れるよう職員の能力向上と防災意識の高揚に努めていきます。各地区においては、区役員や消防団を中心とする自主防災組織に活躍いただきましたので、今後も地域コミュニティを生かし、行政と地域が一体となった活動を推進していきたいと考えます。



土井 秀敏 議員

図書室の復旧は

問 公民館図書室の被災を災害復旧と位置づけているのであれば、それは急を要することであり優先されるべき事案と思いますが。

町長 図書室機能の早期回復のため補正予算を編成しプラザ



プラザロビーに移設された図書室を視察する文教・厚生委員

通告時間 90分

問 大震災における初期対応は的確であったか

答 一応の目途をつけ、情報収集等を指示しました

大震災の被害と対応について

問 3月11日に発生した東日本大震災による町の被害状況を尋ねます。

町長 住家被害は全壊が2棟、半壊4棟、一部損壊814棟。公共施設被害は役場空調設備室外機周り・公民館図書室・中央病院玄関周り等です。道路被害は67力所。橋梁被害4力所。あじさい公園1力所。水道管破損14力所。地震における断水が758戸。計画停電における断水が2237戸。農道被害4力所。農業用パイプライン93力所の被害が確認されています。

問 停電、電話の不通で通信手段が途絶え、また数十回と度重なる余震の中、多くの町民の皆様も不安と恐怖であったと思います。この間多くの職員は、家族の安否を気にかけるながらも庁舎に泊り込み、または、不眠不休で情報の収集、避難所の開設、道路水道等の災害復旧に

町長 庁舎本体に被害がなかったことは、補強工事の効果があつたものと考えられています。今年度は停電時の備えとして非常用電源の分電盤工事を実施する予定です。ご指摘のような電源確保は早急に対応していく必要があると認識しています。

問 福島原発事故による放射能漏れにより生産者は無論の

あじさい祭りを復興の力に

町長 私は席をはずして服務に問題点が発生したということには全く認識をしております。



あじさい祭りで神輿をかつく子どもたち

町長 一応の目途をつけましたというところで時間を見計らい中座しました。ご指摘、ご心配にはあたらないううふうには私は認識をしております。

問 翌12日午前9時までの間、72回の余震があり、停電、断水、電話がつかない状況下で、災害対策本部長である町長が、町外へ行ってしまふのは、私からすればあつてはならないことで、言語道断であると言わざるを得ません。危機管理意識が欠落していると思いませんか。

町長 私は席をはずして服務に問題点が発生したということには全く認識をしております。

町長 余震に対する安全対策を縮小しコミュニティプラザから会場までとし、『がんばろう日本！がんばろう多古！』をメインテーマとして震災の復興支援を目的に開催し、義援金を募り香取市・旭市・東北3県等の被災地に送りたいと計画しています。

町長 余震に対する安全対策を縮小しコミュニティプラザから会場までとし、『がんばろう日本！がんばろう多古！』をメインテーマとして震災の復興支援を目的に開催し、義援金を募り香取市・旭市・東北3県等の被災地に送りたいと計画しています。



所 一重 議員

多古祇園祭の交通規制について

問 歴史と伝統があり子どもたちが心待ちにしている多古祇園祭が今危機に瀕する事態となっております。徐々に交通規制が緩和され今年は例年に比べ4分の1にされようとしています。安心して祭りを楽しめるよう交通規制緩和には、断固反対します。

町長 多古祇園祭については、伝統文化の継承はもちろんな住民同志の絆を深め、より魅力的な町にするためにも開催4地区、商工会、町がお互いに連携を密にして実施していくことが重要であり、町行政としても協力したいと考えています。